

## 教育研究業績書

令和6年4月1日

氏名 井澤正憲

研究分野	研究内容のキーワード	
陶芸	工芸、現代陶芸、造形表現	
教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例	平成27年4月～	学生個々に対して個性を伸ばせる対応を心掛けている。その為、絵画や造形にまつわる人間と表現の歴史や、卒業生が残した数多くの作品に触れられる工夫を行っている。 また、学生が制作した作品は常に教室内外に展示し、普段から鑑賞できる環境を作っている。
① 造形実習での取り組みについて。  ② 陶芸クラブ		選択授業である「造形実習」は、1年次の内容をより専門性の高い内容で2年次に開講している。授業時間以外の空き時間も、作品制作出来るよう教室を開放し作業環境を整えている。制作した作品は、学外のギャラリーでの展示に留まらず、学生が地域との文化交流として、器を使ったフードコーディネートや様々なパフォーマンスを行えるように情報を常に提供している。 土を素材とした表現の可能性をより深く研究するために学生有志と設立。地域の介護施設でのボランティア活動や、留学生との交流など陶芸を通して様々な活動が行えるように門を開けている。また、公募展やグループ展など挑戦出来る環境を作るように心がけている。
2 作成した教科書、教材 ① スペインと日本の現代陶芸「レラシオン・セラミカ」  ② CATALOGO DE MISION CERAMICA	平成20年8月  平成27年11月	図録と講義用データ。 スペイン現代陶芸作家エンリケ・メストレに師事したバレンシアを中心に世界で活躍する作家達と、日本の現代陶芸の先駆者である林康夫を中心に、戦後現代陶磁史を解かりやすく解説している。 スペイン現代陶芸を紹介した図録を製作。授業用に陶芸技法の資料や、日本の陶磁史についてまとめている。
3 教育上の能力に関する大学等の評価 ① 学生による授業評価		担当科目において高い評価を得ている。 多数の学生は絵を描くことに対して苦手意識を持っていたが、画材やテーマの工夫等により表現する楽しさを取り戻している。新素材や作品の展示方法など環境を活かした造形活動も高評価を得ている。

井澤 正憲

4 実務の経験を有する者についての特記事項		
① 海辺の石を焼く	平成 15 年 9 月	和歌浦海岸にて「パレスチナが見たい」の著書、森沢典子とのワークショップ。
② イギリス現代陶芸家とのセッション	平成 16 年 7 月	海岸を散策し、レンガ片（陶片）を収集。その形からイメージする模様を低温釉薬で絵付けし、海岸の石で組んだ窯にて焼成。焼成後、冷却還元。目の前で変化する模様を楽しんだ。
③ 陶芸講座	平成 19 年	東海南中学校 八幡工房に約 1ヶ月滞在制作活動した、イギリス出身の陶芸家とのワークショップとスライドレクチャー。
④ レラシオン・セラミカ ディスカッション	平成 20 年 8 月	地元の土を使って生徒との作品交流。 展示：八幡工房内ギャラリーハチ 和歌山大学観光学部 八幡工房にて講座と穴窯体験。
⑤ ことばをかたちにする	平成 23 年 1 月	和歌山での陶芸活動と地域と文化について説明。その後、焼き物の制作工程を見学してもらい、焼成中の薪窯に薪を入れる体験も行なった。
⑥ くうそう動物園	平成 23 年 10 月	和歌山市民会館 展示：和歌山市民会館 和歌山信愛幼稚園でのワークショップ 1 回目、園庭の土を混ぜて表情を付ける 2 回目、絵付けと野焼き体験
⑦ 満潮祭アート&クラフト	平成 23 年 11 月	展示：八幡工房ギャラリーハチ アガサス 25 周年記念祭 緒方敏明/井澤正憲/井澤幸子/ウッキー富士原/Fuu/AWAYA/田中太山
⑧ 古民家と現代アート陶芸作品と磁器でのあかり展	平成 23 年 12 月	アート表現「浜辺の錬金術師 1」 浜辺の石に低温釉薬を塗り、その場で焼成するワークショップ。 会場：片男波公園、片男波海水浴場 会場：和歌山県立紀伊風土記の丘 重要文化財 旧柳川家住宅の蔵
⑨ 質感の対比と調和	平成 24 年 10 月	主催：和歌山信愛女子短期大学学術研究会 後援：和歌山県教育委員会/ニュース和歌山 「あかり」をテーマに、原型を制作、磁器泥漿 鑄込みによるあかりのオブジェを制作し展示した。
⑩ 東北へのエール	平成 24 年 10 月	和歌山信愛幼稚園でのワークショップ 第 1 回、かたい形とやわらかい形 第 2 回、「絵付け」と「野焼き」 展示：和歌山信愛中学校高等学校 「ここにいるよ」（あかりの作品） 和歌山信愛短期大学生活文化専攻学生作品のパネル出品 展示：福島県立博物館

⑪ 文化庁文化事業/芸術家派遣事業	平成 25 年 10 月	長谷毛原小学校中学校にて陶芸講座 1 回目、スライドレクチャーと制作 2 回目、形と模様（絵付けと釉薬掛け）
⑫ 質感の対比と調和 2	平成 25 年 10 月	和歌山信愛幼稚園でのワークショップ 第 1 回、のせる形のる形 第 2 回、「絵付け」と「野焼き」 展示/八幡工房ギャラリーハチ ゲストアーティスト 井澤正憲/井澤幸子/井澤岳丸/奥中章人/奥野誠/奥野佳世/Maiko/田中太山 アート表現「浜辺の錬金術師 2」 海の家にて『砂をガラスに変える実験室』“めがねや”オープン。 砂と重曹を混ぜ、アルミナ紙に置いた磁器で制作した眼鏡フレームに混ぜた液体をうめ、小型電気炉で焼成。 会場：片男波公園、片男波海水浴場 野上第一保育所 粘土で箱庭を制作。 作品は最終的に花瓶となるのだが、形・物の構造を理解する為、基礎、土台、柱、壁、屋根、窓と基本的な作業を進め、自由に装飾を行なった。
⑬ ミチシオ祭和歌浦アート&クラフト 2014	平成 26 年 5 月	
⑭ 花と未来	平成 26 年 6 月	内海幼稚園 「親は子に、子は親に」 比較的制作しやすい技法「たたらつくり」による小皿の制作と、園児はぎゅっと握って着けたり突いたりした箸置き制作。 表情豊かなテーブルの上の世界が仕上がった。 「ぶらくりアート」 磁器でのあかりによるオブジェの展示。 一高校生・大学生・一般の枠を超えてアートと日常生活の融合を楽しむー 協力：和歌山県立和歌山商業高等学校・2 年生美術選択生/和歌山県立和歌山工業高等学校・3 年創造技術科生/和歌山県立星林高等学校・軽音楽部/和歌山信愛女子短期大学・生活文化専攻学生/ 会場：ポポロビル 1 F 主催：まちなか交流スペース「みんなの学校」
⑮ 親子で楽しむ陶芸講座	平成 26 年 6 月	
⑯ AKARI 展	平成 26 年 3 月	長谷毛原小学校中学校にて陶芸講座 1 回目、スライドレクチャーと制作 2 回目、形と模様（絵付けと釉薬掛け） 「ワダイノカフェ レラシオン・セラミカ」 展示会の為来日しているスペイン人陶芸家をゲストに、和歌山大学教育学部教授寺川剛央と和歌山信愛女子短期大学講師井澤正憲による現代陶芸談議。 登壇：寺川剛央/井澤正憲 会場：ロザリータ（和歌山市） 和歌山大学連携推進協議会
⑰ 文化庁文化事業/芸術家派遣事業	平成 26 年 10 月	
⑱ ワダイノカフェ	平成 27 年 7 月	

<p>⑱ WAKAYAMA SCHOOL OF ART</p>	<p>平成 27 年 9 月</p>	<p>「表現活動（アート&amp;デザイン）と法律」 表現活動における著作権問題についての対談。 会場：和歌の浦アート・キューブ 高等教育機関コンソーシアム和歌山採択事業 講師：馬場貞幸/Art and Law・弁護士 井澤正憲/和歌山信愛女子短期大学講師 小川貴央/WAKAYAMA SALONE 代表</p>
<p>⑳ シンポジウム「地域文化立国宣言」</p>	<p>平成 27 年 9 月</p>	<p>井澤正憲企画の「ミシオンセラミカ」（スペイン陶芸家との交流展）に至るまでを講演。 2006 年スペイン人陶芸家エンリケメストレ氏との出会いから現在までの文化交流の流れについて。 登壇：井澤正憲/土井久幸/貝塚まちなかアートミュージアム/堺アートプロジェクト/北夙川不可止 会場：和歌山大学松下会館（和歌山市） 長谷毛原小学校中学校にて陶芸講座</p>
<p>㉑文化庁文化事業/芸術家派遣事業</p>	<p>平成 27 年 10 月</p>	<p>1 回目、スライドレクチャーと制作 2 回目、形と模様（絵付けと釉薬掛け）</p>
<p>㉒ WAKAYAMA SCHOOL OF ART</p>	<p>平成 28 年 9 月</p>	<p>平成 28 年度 高等教育機関コンソーシアム和歌山採択事業 第 1 話「和歌山アートの学校社会学編」 各地域での試みから紐解く、地域・社会でのアートの機能。アートは地域の人々にどのような作用をもたらしたのか。地域アートの課題とは。 会場：イオンモール和歌山 3 F イオンホール 講師：芹沢高志/アートディレクター 井澤正憲/陶芸家・和歌山信愛女子短期大学講師</p>
<p>㉓親子で楽しむ陶芸体験</p>	<p>平成 28 年 12 月</p>	<p>平成 28 年度実践的教育プログラム 生活文化学科生活文化専攻井澤ゼミ 「粘土遊びと小皿制作」 【目的】ぐちゃぐちゃ粘土遊びから、造形の原点を探る。 展示：平成 29 年 2 月 和歌山信愛女子短期大学 保育ホール</p>
<p>㉔和歌山信愛女子短期大学生生活文化専攻学生×障がい者の陶芸教室</p>	<p>平成 29 年 8 月</p>	<p>和歌山みその商店街 麦の郷総合支援センター アートサポートセンターRAKU 井澤ゼミ学生 展示：11 月 24 日 アートサポートセンター内</p>
<p>㉕飾るかたち</p>	<p>平成 29 年 12 月</p>	<p>和歌山信愛短期大学附属信愛幼稚園 第 1 回、未来の自分に贈るメダルというテーマで 2 種類の土を使い制作。 第 2 回、絵付けと野焼き。 第 3 回、構成 展示：平成 29 年 2 月 和歌山信愛中学校高等学校 校内ギャラリー</p>
<p>㉖和歌山信愛女子短期大学生生活文化専攻学生×留学生の陶芸教室</p>	<p>平成 29 年 12 月</p>	<p>和歌山大学 井澤ゼミ生と和歌山大学の留学生による陶芸ワークショップを行った。</p>
<p>㉗「室礼」</p>	<p>令和 3 年 1 月 ～令和 5 年 5 月</p>	<p>毎月 1 回、環境と空間を使った「季節の室礼」をテーマに生活空間を彩るインスタレーションを開催している。 展示空間：八幡工房</p>

㊸きみの海南映画祭	令和6年2月	きみの海南映画祭「学生部門」統括 学生映画部門の調整 大阪芸術大学、東京藝術大学
5 その他 ① 和歌山県立図書館生涯学習	平成26年4月	生涯学習講座「陶芸ワークショップ」 (2015.2016.2017)
職 務 上 の 実 績 に 関 す る 事 項		
事 項	年 月 日	概 要
1 資格、免許 (ア) 中学校教諭1種免許状「美術」 (イ) 高等学校教諭1種免許状「美術」 (ウ) 高等学校教諭1種免許状「工芸」	平成6年3月 平成6年3月 平成6年3月	(免許状番号：平5中1第2546号、大阪府教育委員会) (免許状番号；平5高1第2692号、大阪教育委員会) (免許状番号；平5高1第2693号、大阪教育委員会)
2 特許等		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書)				
(学術論文)				
1 ジオラマによる境界線表現	単	平成31年3月	京都造形芸術大学大学院	京都造形芸術大学図書館「制作研究ノート」戦後現在陶芸の歴史及び、土という素材を用い造形表現に至るまでの思考についてまとめている。
2 子どもの表現に関する研究動向	共	令和3年3月	信愛紀要第62号	<u>0歳から6歳までは、人間を形成する重要な時期である。その発達段階に応じた環境（家庭、保育園、認定こども園）で、子どもの表現活動に対して大人が理解しておかなければならない音楽表現・身体表現・描画表現についての研究動向をまとめている。</u> (執筆担当部分：描画表現について) 著者：井澤正憲、今西香寿、田原淑子 <u>運動遊び・造形あそびの事例。</u>
3 5歳児の活動を通してみられる表現	共	令和4年3月	信愛紀要第63号予定	<u>0～6歳までの立体的な造形表現（つくる発達）についての研究動向と、粘土遊びから生まれた造形物についての記録。また、和歌山信愛幼稚園での年長対象の造形ワークショップについての報告を行っている。</u> <u>このワークショップでは、粘土あそびで現れた作品を焼成（楽焼）から展示まで体験する内容となっている。</u> (執筆担当部分：5歳児の造形表現について)
4 表現「土」	単	令和4年3月	信愛紀要第63号	著者：井澤正憲、今西香寿 <u>立体的な表現活動のためによく用いられる素材「土」について、自身のこれまでの作品を通してまとめている。表現に至る思考と環境。戦後「オブジェ焼き」といわれる現代陶芸史について記述している。</u>
5 井澤正憲作品展	単	令和4年3月	信愛紀要第63号	2021年度における表現活動のまとめ。 「第74回和歌山県美術展覧会」（和歌山県立近代美術館）、「宵闇のパノラマ 井澤正憲/野村真弘」（ギャラリー白・大阪）、「井澤正憲/澤幸展」（ギャラリー揺・京都）出品作品のデータをまとめている。
6 OC体験授業の実践報告	共	令和5年3月	信愛紀要第64号	<u>2022年度に行ったオープンキャンパスでの「表現」体験授業実践の報告を行っている。計6回の作って遊べる体験講座</u>

				を、素材や制作工程、画像使い分けりやすく解説している。 (執筆担当部分：オープンキャンパス実践報告について) 著者：井澤正憲、渡辺直人
(その他) 「展覧会」				
1 海南市美術展	—	平成30年10月		海南保健福祉センター 工芸の部審査員として出品。
2 和歌山県美術展	—	平成31年1月		和歌山県立近代美術館、和歌山県立橋本 体育館、上富田文化会館、新宮総合体育 館巡回展。
3 コンクリートニモル	—	平成31年2月		ギャラリー北野坂 神戸 壁面を装飾するグループ展に出品。
4 京都造形芸術大学 大学院修了制作展	—	平成31年3月		ギャラリーオーブ 京都 修士課程修了作品展。
5 京都造形芸術大学 院生展	—	平成31年3月		ギャラリー揺 京都 清水六兵衛と院生によるグループ展。
6 和歌山県美術展	—	令和2年1月		和歌山県立近代美術館、和歌山県立橋本 体育館、上富田文化会館、新宮総合体育 館巡回展。
7 井澤正憲・野村真 弘展	—	令和2年		和歌山信愛女子短期大学アートスペース 井澤正憲・野村真弘による平面と立体の 作品展。
8 宵闇のパノラマ	—	令和3年3月		ギャラリー白 大阪 井澤正憲・野村真弘による平面と立体の 作品展。
9 井澤正憲・澤幸展	—	令和3年5月		ギャラリー揺 京都 井澤正憲・澤幸による陶芸展。
10 和歌山県美術展	—	令和4年1月		和歌山県立近代美術館、和歌山県立橋本 体育館、上富田文化会館、新宮総合体育 館巡回展。
11 レラシオン・セラ ミカ×京都	—	令和4年3月		ギャラリー揺 京都 スペイン人作家 10 名と林康夫・井澤正 憲・井澤幸子による展覧会。 ディレクター：井澤正憲
12 レラシオン・セラ ミカ	—	令和4年9月21 日～11月6日		Asoociacion Profesional de Artesanos de Aragon (スペイン美術学校) 林康夫とエンリケ・メストレ、彼らを師 事した作家によるグループ展。表現形態 は陶芸に限らず映像や写真も展示。
13 レラシオン・セラ ミカ		令和5年6月29 日～12月15日		Museu del Taulell (スペイン・オンダ) 林康夫とエンリケ・メストレ、彼らを師 事した作家によるグループ展の巡回。表 現形態は陶芸に限らず映像や写真も展 示。
14 井澤家 100%		令和6年8月		ギャラリー揺 京都 (予定)
15 JOMON		令和6年11月		ギャラリーハチ 和歌山 (予定) 音楽・書・造形で彩る